２０１１年度  
  
１，、（学会報告）「制度的コンサルテーションの相互行為分析ー法律相談と医療面接」、ミニシンポジウム「法のエスノメソドロジー研究の新展開」（コーディネータ：樫村志郎）２０１１年度日本法社会学会学術大会、東京大学、２０１１年５月７日（土）。  
  
２，　（学会報告）(Kitamura, T, Fukaya Y, Koyama S, Kimura Y & Nakatugawa J)"Change in speaking time of elderly people who require facility care when social communication from staff is increased", USM International Nursing Conference 2011, Kota Bharu, Malaysia, June 2011, 14-15th.  
  
  
４、（研究会報告）「裁判、陪審、紛争解決―Talk in Action 第４章の紹介」、制度的場面におけるエスノメソドロジー・会話分析研究会（日本質的心理学会助成）、新潟青陵大学、２０１２年、３月２６日（月）。  
[Ｈｅｒｒｉｔａｇｅ　ａｎｄ　Ｃｌａｙｍａｎ著 Talk in Action 第４章の紹介など  
  
５、（学会報告）「法専門職の相互行為知識と評議における知識系・アイデンティティ: ビデオデータによる反対尋問と陪審評議の分析を素材に」､エスノメソドロジー・会話分析研究会　春の例会（日本法社会学会後援）、２０１２年３月３１日、明治学院大学。